

● 2022年これまでの活動

4月2日文学館レクチャーコンサート

詩と音楽の出会い 第3回〈北原白秋と山田耕筰〉

お話 福田知子（詩会員）・岡田征士郎（演奏会員）
朗読 大神田頼子（演奏会員）・葉谷佳苗（演奏会員）
歌 神田裕史（演奏会員）・栗木充代（演奏会員）
ピアノ 小林美智 司会 紫野京子（詩会員）

北原白秋と山田耕筰の名コンビが作り出す歌曲の世界。白秋、耕筰の生い立ちや、時代背景などを詩人、音楽家それぞれの立場から、レクチャーしていただきました。今回は、歌われる曲以外で歌曲になっている曲を中心に、詩の朗読を演奏会員が担当。最後にコンサートをお楽しみいただきました。

6月26日サロンコンサート in 松下記念ホール

9名の詩人と8名の作曲家による16曲が再演されました。変化に富んだいずれ劣らぬ名曲を、8名の歌手が個性豊かに歌い上げました。

歌曲は再演され、歌われてこそ、生き生きと羽ばたくことができます。どうか歌手の皆様、ご出演されない本公演や、サロンにもお越しただいて曲を聴いていただき、お持ちでない出版楽譜をご購入下さい。ご興味のある曲がありましたら初演音源もご用意できますので、再演コンサートにご参加ください。

再演曲 ああ神戸・海上都市・時間・山科疎水・
今ここ・青空のかけら・コンサート・
ふるふるさくら・私の胸の夕ぞらに・
秋の眼・花のソネット・笹舟はなだいろ・縹色ときの刻・
その時 I II・百日紅さるすべりの花



新入会員のご紹介

【詩】山本真弓（やまもとまゆみ）

推薦者 高橋富美子（役員）福田知子（詩会員）

プロフィール 詩歴 28年

◇作詩「再びの春」作曲矢野正文（1995年震災詩）

◇詩集

『あの日ワタシが見たものは』
1993年刊（蜘蛛出版社）

『五月の食卓』2018年刊（濡標）

『ティータイム』2021年刊（濡標）

現在 兵庫県現代詩協会事務局長

コメント

遅まきですが当会に入会させていただき、作詞を心がけたいと思います。

● 「新しい日本の歌14」コンサート

11月18日金曜日19時開演

於 兵庫県立芸術文化センター小ホール

チラシを同封いたしましたのでご覧ください。

今年は作品が少なめですが、その分公演時間に余裕ができましたので、司会者にタイトルや関係者のご紹介だけではなく、コメントなども紹介していただくということになりました。

理事会では、詩の朗読をする、という意見も出ましたが、反対意見もあり、何か違う形はないか話し合った結果、夏のサロンコンサートでの雰囲気良かったのではないかと、という意見が出ました。お客様にも「親しみやすく、わかりやすかった」と評判良かったということで、サロンコンサートに引き続き司会を、演奏会員の津田基子さんにお願いした次第です。

作品だけではなく、いつもとちょっと違った雰囲気も楽しんでいただければと思っております。万障お繰り合わせの上、是非ご来場くださって、会員相互の交流も深めていただけましたら幸いです。

同封のチケットはご自身で使われても、どなたかにお譲りいただいても構いませんが、お譲りの場合には、必ず裏にお譲りになった会員様の氏名とご来場の方の連絡先をご記入いただきますよう、お願いいたします。

ご来場の際には、検温、消毒など、感染対策にご協力ください。プレゼントなどをご遠慮ください。最後のロビーでのご挨拶は現時点ではありません。



編集後記

ようやく秋めいてまいりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。行楽シーズンが到来し、各地でコンサートなども多数開催されるようになりました。いろいろな制限が解除され、多くの方々が旅行や観光地に殺到して、海外からも多くの方々が来訪されています。

しかし、一方ではインフルエンザとコロナとの同時流行が予測されるなど、いろいろな不安も囁かれています。出演者関係者は勿論のこと、会員の皆様もお気をつけてお過ごし下さい。今年も事務局一同、気を緩めることなく感染対策をきっちり行ってコンサートの開催に臨みたいと思っています。

ピアノ合わせがはじまり、関係者も、現在音楽に真摯に取り組み、新しい曲を発表するための準備を進めております。もしお時間、ご都合が許すようでしたら、お運びください。新しい歌が世に出る瞬間の喜びを共有致しましょう。

事務局 薬谷佳苗